

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

平成30年5月18日

日本アクチュアリー会の第57回IT研究大会で、当社従業員が共同執筆した論文が優秀論文として表彰されました。

日本アクチュアリー会の第57回IT研究大会(平成30年1月25日開催)(*)で、当社従業員が共同執筆した論文が優秀論文として表彰されました。

■研究テーマ

- ①最新ITと異業種コラボレーションによるニュービジネスの創出
・齋藤静香職員(事業五部営業システム課)
- ②保険業界における人工知能の活用
・萩原華職員(事業三部新契約システム課)
・水野祐輝職員(事業三部保全システム課)

■発表内容

- ①近年保険会社が直面するマーケット縮小や顧客ニーズの多様化に対応するため、「最新IT」と「異業種コラボレーション」を融合させたニュービジネスの創出について考察し、保険業界における活用施策を提言しました。
- ②人工知能が日々社会を変えています。技術革新の動向を踏まえ、保険業界の営業戦略において、将来どのように人工知能が活用できるか、提言しました。

■表彰者のコメント

- ・AIやVRなどの最新IT技術に関して深く研究できたことや、保険と異業種とのコラボレーション案を様々な角度から検討できたことで、視野が広がりました。また、初めての社外研究会参加だったため、他社の動向や働き方などに目を向けるきっかけになりました。(齋藤職員)
- ・1年間の研究の間にも技術が日々発展しており、近未来の保険業界やシステムを検討するところにやりがいがありました。数年先の情勢を意識した検討は今後の業務へ活かしたいです。(萩原職員)
- ・研究会の活動を終えた後も、人工知能関連のニュースや記事をよく読むようになりました。研究会に参加したことで、自分の興味の幅が広がりました。同業他社の仲間を作る貴重な機会でもありますので、後輩にも積極的に参加してもらいたいと思います。(水野職員)

(*)日本アクチュアリー会は、1899年に創立されたアクチュアリー学の研究調査やアクチュアリー教育・育成など幅広い活動を行う公益社団法人。法人会員は、大手金融機関を中心とした108社。IT研究会は、業界共通テーマについて各社のシステム部門の若手で調査・研究グループを組織し、調査・研究活動を行っている。その成果は年一回のIT研究大会で発表し、研究論文としてまとめている。研究会の活動は調査・研究が主目的だが、各社のシステム担当者間の交流を深め、また相互研鑽の場ともなっている。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101